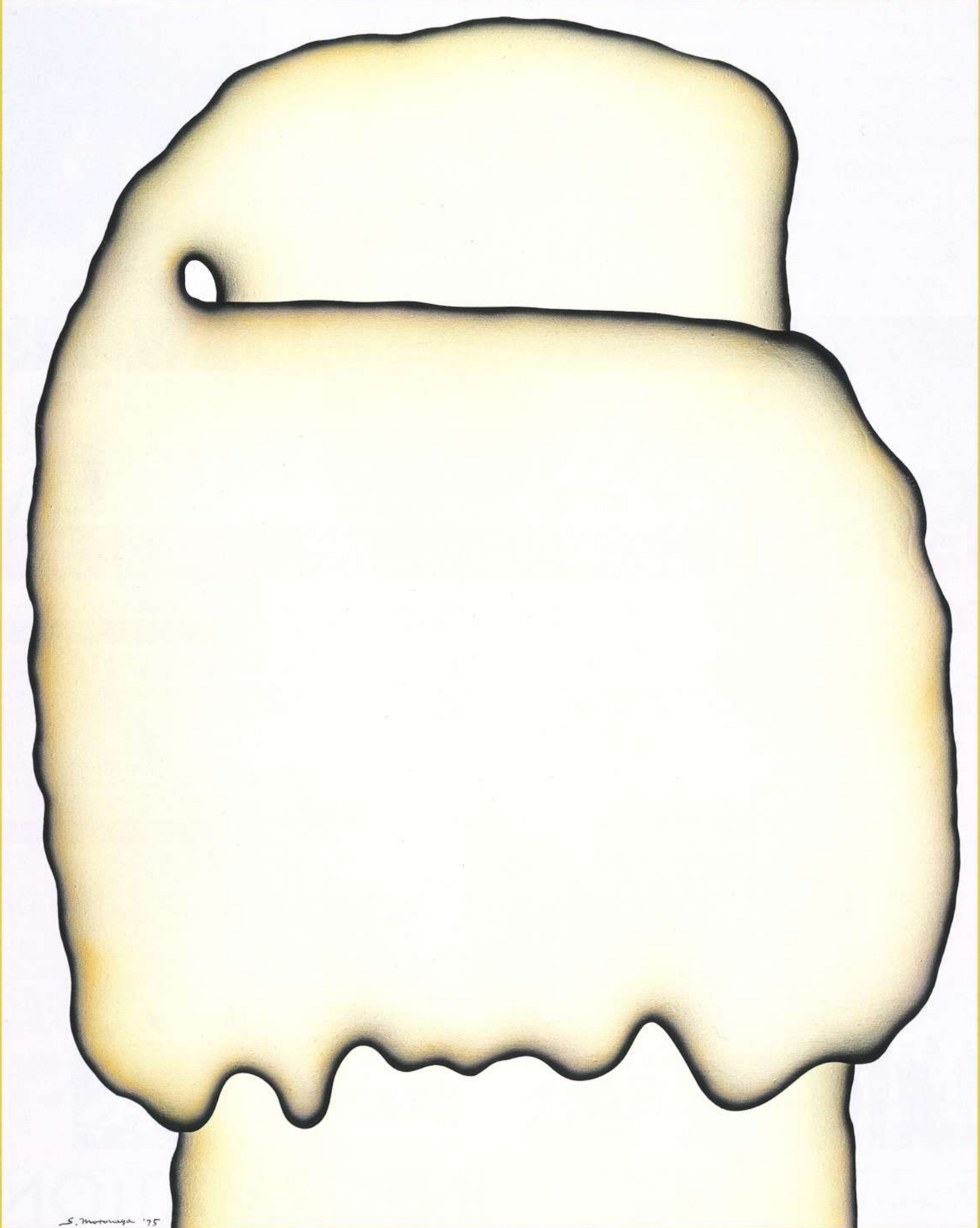


OPEN WEEK 2017/1/28(Sat)-2/5(Sun)

五永正一 (1975年東京大学一学芸学部美術学専攻卒業)



S. Moriyama '15

主催 | 東京ステーションギャラリー (公益財団法人東日本鉄道文化財団) 協力 | 埼玉県深谷市教育委員会 企画協力 | トーキョー・テンダー・テーパー株式会社

# ひらかれた美術の9日間

**T** TOKYO STATION GALLERY

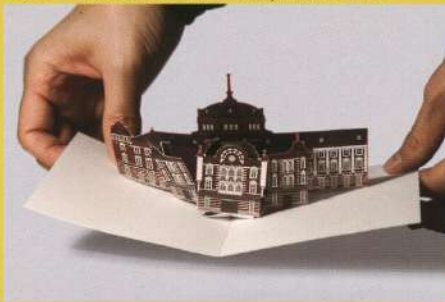
会場 | 東京ステーションギャラリー Tel.03-3212-2485 〒100-0005東京都千代田区丸の内1-9-1 <http://www.ejrcf.or.jp/gallery/>  
開館時間 | 10:00~18:00 ※金曜日は20:00まで開館、入館は閉館の30分前まで 【会期中無休】 交通 | JR東京駅 丸の内北口 改札前  
入館料 | 一般・大学生200円、高校生以下無料 ※20名以上の団体は100円引き ※障がい者手帳等持参の方は100円引き、その介添者1名は無料

東京 TOKYO STATION CITY



3回目を数える今回の「オープン・ウィーク」は「ひらかれた美術」がテーマ。当館の所蔵品から約20点をセレクトし、様々な仕掛けとヒントで作品に親しんでいただけます。また、埼玉県深谷市にある煉瓦史料館の貴重な資料で煉瓦の製造方法を解説するコーナーや、毎回好評の東京駅丸の内駅舎のペーパークラフトや意匠スタンプの体験コーナー、さらに子どもから大人まで参加できるワークショップや音楽イベントまで、多くの人にひらかれたプログラムで、美術と美術館を楽しんでいただく9日間です。

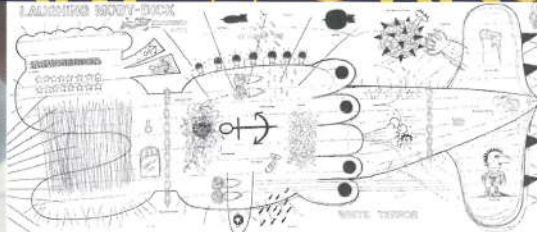
ポップアップカードになる東京駅丸の内駅舎のペーパークラフト。スタンプでデコレーションして大切な人にプレゼントしよう！(常時参加可/無料) ©Tokyo Tender Table



100年前に東京駅の煉瓦を製造していた日本煉瓦製造株式会社の資料写真より 埼玉県深谷市教育委員会提供

出品予定 池田龍雄/イケムラレイコ/大岩オスカル/岡本信治郎/小川信治/小林孝亓/篠原有司男/中村宏/元永定正/吉村芳生

左から 大岩オスカル《新橋》2007 / 小川信治《パルコニーにて1・2》2007 / 小林孝亓《Pillow》2007 / 岡本信治郎《笑うモービー・ディック》2002 / すべて当館蔵



## ART WORKS

## EVENTS

すべて参加費無料(要別途入館料)/各ワークショップは12/12(月)申込受付開始/最新情報は当館ホームページおよびFacebookをご覧ください。  
※イベント内容は変更することがあります。各イベント開催中に記録撮影を行います。撮影した写真および映像は当館の活動で使用することがあります。

### 視覚障害者をつくる 美術鑑賞ワークショップ × オープン・ウィーク

1/28(土) | 2/3(金)  
13:30 ~ 16:00 | 17:00 ~ 19:30

「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」とのコラボレーション企画。展示作品や100年前のレンガが特徴的な建物を、「みえる」「みえない」という様々な視点を持ち寄り、言葉を介してお互いに印象や感想を伝えあいながら鑑賞し、新たな視点を発見するプログラムです。

【定員】各回14名

【参加方法】件名を「オープン・ウィーク」として、参加希望日、氏名(ふりがな)、電話番号、参加動機、障害の有無と種別を明記の上、Eメールにて、[kansho.ws@gmail.com](mailto:kansho.ws@gmail.com) まで。×切は各開催日の1週間前とします。

©中島佑輔



### 中村宏の「見ることについて 考えてみる」ワークショップ

1/29(日)  
13:00 ~ 16:00

中村宏の展示作品《車窓篇》シリーズを切り口に、制作についてのお話しを聞き、実際に電車に乗って車窓を見ます。その後見えてきたことを言葉や絵で表現することを通して、講師と一緒に「見る」ことについて考えます。

【講師】中村宏氏(絵画者)

【対象・定員】中学生以上、15名

【参加方法】件名を「中村宏ワークショップ」として、氏名(ふりがな)、当日連絡可能な電話番号を明記の上、Eメールにて [tsg.uketsuke@gmail.com](mailto:tsg.uketsuke@gmail.com) まで(複数名可)。定員に達し次第受付終了。

\*申込後3日以内に返信がない場合はお手数ですが開催時間中に美術館まで電話でお問合せ下さい。

中村宏《車窓篇 TYPE11 (ローズマッター残像)》1982年 当館蔵



### 「ヘンテコなかたちを かいてみよう」ワークショップ

2/4(土) | 2/4(土) | 2/5(日)  
13:30 ~ 14:30 | 15:30 ~ 16:30 | 13:30 ~ 14:30

元永定正の展示作品にちなんだファミリープログラムです。自由な発想でヘンテコなかたちを描き、色を塗って楽しみます。

【対象・定員】5歳以上小学生以下の児童とその保護者、各回8組

【参加方法】件名を「ヘンテコなかたち」として、参加希望日時、児童と保護者の氏名(ふりがな)、児童の年齢、当日連絡可能な電話番号を明記の上、Eメールにて [tsg.uketsuke@gmail.com](mailto:tsg.uketsuke@gmail.com) まで。定員に達し次第受付終了。

\*申込後3日以内に返信がない場合はお手数ですが開催時間中に美術館まで電話でお問合せ下さい。

### 駅の美術館をたのしむツアー 毎日開催

土・日・火・木 | 月・水・金  
10:30 ~ 11:30 | 14:00 ~ 15:00

当館スタッフが展示作品と建物について解説し、参加者と対話をしながら館内を巡るインタラクティブなツアーです。

【定員】各回先着15名

【参加方法】当日朝10時より美術館受付にて申込

### 馬喰町バンド Special Live

#### クロージングイベント

2/5(日)  
15:30 ~ 17:00

「ゼロから始める民俗音楽」をコンセプトに活動する「馬喰町バンド」がトークと音楽で本企画のフィナーレを飾ります!

【定員】先着50名

【参加方法】当日朝10時より美術館受付で整理券を配布します。



左から  
ハブヒロシ  
遊戯・唄

武徹太郎  
ギター・エレキ六絃・唄

織田洋介  
ベース・唄

《特典情報》

【東京駅周辺美術館共通券(2017)】のご提示で、本企画の入館料が無料になります!

### 【東京駅周辺美術館共通券】

出光美術館、三井記念美術館、三菱一号館美術館と当館の4館で、1年間、各館のお好きな展覧会をひとつずつ選んでご入場頂けるチケット(「追悼特別展 高倉健」は対象外)。各美術館窓口にて2,500円で販売。当館では1/28(月)より発売。美術館毎に販売期間が異なります。無くなり次第販売終了。

次回展情報

パロディ、二重の声-日本の1970年代前後左右

2/18(土) ~ 4/16(日)

アドルフ・ヴェルフリ 二萬五千頁の王国

4/29(土) ~ 6/18(日)

交通: JR 東京駅 丸の内北口改札前 ☎03-3212-2485

東京ステーションギャラリー  
TOKYO STATION GALLERY

## INFORMATION

